

製品・サービス動向-国内

■ライフサイズ：導入を簡単にする、サポートまで含めたビデオ会議専用端末のサブスクリプションサービスを北米・欧州にて提供開始、日本も2020年度中開始を予定

(ライフサイズジャパン取材：1月14日)

米ライフサイズ社 (<https://www.lifefsize.com/ja>) は、2019年12月19日、導入を簡単にする、サポートまで含めたビデオ会議専用端末のサブスクリプションサービス「Rooms-as-a-Service (RaaS、ルームズ・アズ・サービス)」を北米・欧州向けに販売開始した。



Rooms-as-a-Service イメージ (ライフサイズ)

RaaS は、ライフサイズのクラウドサービスをバックボーンに、専用端末やソフトウェア、顧客サポートまでをオールインワンパッケージとして年額費用(定額)で提供するもの。イメージとしては部屋ごとにワンパッケージを利用する感じだ。

従来、専用端末は、初期費用の高さや煩雑な購入プロセスのため、導入に至るまでの期間やあるいは導入後のハードウェアの更新サイクルが長期化するなどの課題があった。その課題を解決し、スムーズな専用端

末導入をサポートする目的から今回、RaaS を発表した。加えて、専用端末は品質が高く安定しているとしてユーザから見直されている面もあるという。

「日本でユーザのニーズを見極めたうえで2020年中のリリースを検討している。」(ライフサイズジャパン)

ユーザにとって、これまで固定資産として導入するのが一般的だった専用端末だが、RaaSによってそれにまつわるさまざまな費用を一括経費で落とせるようになった。そのため、社内で予算化する際に導入・運用コストが予測しやすくなった。これはクラウドサービスの浸透やそれに伴う顧客企業におけるCAPEXからOPEXへの移行ニーズが背景にあるようだ。

また、コストの面だけでなく、従来の固定資産化した状態でのビデオ会議では、減価償却期間の関係で、タイムリーに端末の追加や撤去、あるいは、新モデルにリプレースするなど難しい面があったが、今回のサブスクリプションサービスでそれらがいつでも柔軟に行えるようになった。

「ビデオ会議専用端末がさらに導入しやすくなったというのがRaaSの肝になる。」(ライフサイズジャパン)

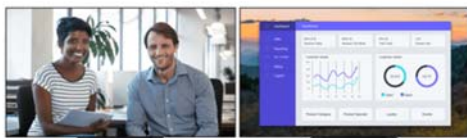
さて、RaaSの提供方法だが、既にライフサイズから販売されている最新の専用端末モデルに保守サポートをバンドルし、会議室の大きさに応じて複数のパッケージで提供する形になっている。

RaaSにおいては、クラウドサービスによる業界唯一のUHD4Kを提供するとともに、全ての会議室の種類とデバイスにわたって一貫したエクスペリエンスを提供するのが特長となっている。もちろん、クラウドサービスの登録・管理などサービスを利用する上で不可欠

な会議機能も含まれ、ユーザのニーズに応じてサードパーティー製品でも動作させることも可能となっている。

その他、会議ニーズに柔軟に合わせた簡単な拡張性とアップグレードパスのほか、「アドバンストハードウェア交換プログラム」も用意している。

一方、サポートの面では、大規模な展開にも対応できるようにデザインされたグローバル組織とサービスでしっかりとユーザをバックアップする。顧客と緊密に連携したハイタッチサポートを特長とし、完全なソリューションを提供することにコミットする。



Lifesize Icon 700 with Phone HD

今回、北米本社から発表されたのは、4つのパッケージ。それぞれ異なった Icon シリーズの端末がバンドルされており、ユーザは会議室の大きさと選択できるようになっている。いずれのパッケージも、クラウドサービスの登録・管理・会議機能を提供し、アドバンストハードウェア交換プログラムを含めたサポートも含まれている。なお、後述の料金については、米国ドルベース（参考価格）で、日本提供時の価格は現時点（定期レポート発行時）では未定となっている。

パッケージをそれぞれ簡単に説明する。

まずはハドルルーム・小規模会議室に適した「Lifesize Icon 300 with Micpod」。Micpodを備えた Lifesize Icon 300 のパッケージ。4K コンテンツ共有に対応した端末。1年契約で\$119/会議室/月。また2年契約では\$99/会議室/月～となっている。

二つ目は「Lifesize Icon 300 with Phone HD」。こちらは Phone HD を備えた Lifesize Icon 300 のパッケージで、4K コンテンツ共有に対応した端末。1年契約で\$149/会議室/月。また2年契約では\$129/会議室/月～となっている。

三つ目は「Lifesize Icon 500 with Phone HD」。こちらは Phone HD を備えた Lifesize Icon 500 のパッケージで、中規模会議室向け。4K ビデオ会議に対応。1年契約で\$219/会議室/月。また2年契約では\$199/会議室/月～となっている。

最後は「Lifesize Icon 700 with Phone HD」。こちらは Phone HD を備えた Lifesize Icon 700 のパッケージで、大規模会議室向け。4K ビデオ会議と20倍ズームに対応。1年契約で\$319/会議室/月。また2年契約では\$299/会議室/月～となっている。

いずれのパッケージにおいても、契約途中のアカウント追加はどの月からも可能。また、契約終了時には、現在の製品を更新して維持するか、もしくは契約をキャンセルして製品を返品するという2つのオプションが提供されている。

Lifesize Offering



提供ラインナップ（ライフサイズ）

ライフサイズとしては、サブスクリプションサービスに加えて、従来からの、顧客が購入して所有する形も引き続き対応する。それらの他、専用端末には手が出ないが、専用端末ライクなものが欲しいというユーザには、「Lifesize Dash(ライフサイズ・ダッシュ)」も提案する。

Lifesize Dash は、サードパーティー製のパソコン (Windows や Chrome など) やタブレット (Android、iOS)、Web カメラなどを組み合わせた簡易なルーム型のビデオ会議を提供するソフトウェアソリューション。クラウドへの自動接続と会議室毎に割り当てられる1アカウントライセンスを無料で提供し25名までの会議が行えるようになっている。ワンタッチで会議室に入れる簡単さを提供している。

「RaaSはシングルベンダーによるオールインワンのサブスクリプションサービスであるため、高品質なエクスペリエンスを提供できると自負している。導入しやすく簡単操作、しかもTCOも20%から30%削減できると試算されている。日本の皆様にも是非近々にサービス提供開始したいと思っている。」(ライフサイズジャパン)

■アバー・インフォメーション：プレミアム Web カメラ「CAM520Pro」を新たに発売



CAM520Pro(アバー・インフォメーション)

(2020年1月)

アバー・インフォメーション株式会社 (<https://jp.aver.com/>) (東京都新宿区) は、大規模会議室 (7人から24人程度) に最適なプレミアム Web カメラ「CAM520Pro」を新たに発売する。

CAM520Pro は、最大フル HD1080p/60fps に対応し、電動パンチルトズーム/光学12倍ズーム機能を搭

載している。その他、顔検知自動 FOV 調整機能である「Smart Frame」や逆光補正「TrueWDR 機能」などにも対応している。

CAM520Pro は、背面接続端子の種類によって、HDMI/USB/LAN (PoE 給電対応) あるいは、USB/LAN (PoE 非対応) の2モデル提供する。

2月1日から受注開始。価格はオープンプライス。

■AloT クラウド：ビジネスコミュニケーションサービス「LINC Biz」、スタンダードプランの提供を開始

(1月24日)

シャープの子会社である株式会社 AloT クラウド (<https://www.aiotcloud.co.jp/>) (東京都江東区) は、独自の AloT プラットフォームを活用したビジネスコミュニケーションサービス「LINC Biz」において、現在提供中の「フリープラン」に加え、新たに「スタンダードプラン」の提供を1月24日から開始する。

スタンダードプランは、LINC Biz への外部ユーザ招待機能の追加、チャンネル数/ストレージ容量/ビデオ会議数などの制限解除など、業務の効率化をサポートするスペックを搭載し、さらに快適にサービスが利用できるようになっている。すでにフリープランを利用している場合はそのままスタンダードプランへ移行することも可能となっている。

■「フリープラン」「スタンダードプラン」の機能概要

	フリープラン (2019年11月28日より提供中)	スタンダードプラン (2020年1月24日提供開始)
利用料金	0円/月	350円/月 (税別)
チャンネル数	最大15	制限なし
チャットへの外部ユーザー招待	×	○
ストレージ容量	2GB	2GB + ご契約数×1GB
同時ビデオ会議数	1 (最大3接続)	ルーム制 ^{※1} (ご契約数=最大接続数)
ビデオ会議へのゲスト招待	○	○

※1 全ての会議の参加者がユーザーライセンス数を超えない範囲で自由に会議を設定できます。例えば、6ユーザーライセンス契約の場合であれば、6人で1つの会議を実施することや、4人の会議と2人の会議を同時開催することも可能です。

(AloT クラウド)

一方、1月24日開始する LINC Biz の基本機能アップデートには、会議予約/チャット上でのリマインダと

いったビデオ会議機能の強化、PC アプリケーション (Windows/Mac) の提供などが含まれている。

※関連記事：2019年11月30日号

ビジネス動向-国内

■ヤマハ：会議用マイクスピーカーシステム「YVC-1000」が Zoom Rooms の認証を取得

(1月15日)

ヤマハ株式会社 (<https://jp.yamaha.com/>) (静岡県浜松市)は、同社が販売するユニファイドコミュニケーションマイクスピーカー「YVC-1000」が、新たに Zoom 社の提供する法人向け Web/ビデオ会議ソリューション「Zoom Rooms」の認証を取得したと発表。



ユニファイドコミュニケーションマイクスピーカー「YVC-1000」(ヤマハ)

YVC-1000 は、中規模会議から 40 人を超える大規模会議をもカバーする USB/Bluetooth マイクスピーカーシステム (2014 年 5 月に発売)。価格は 120,000 円 (税抜き)。

今回の認証取得により、マイクミュートやスピーカーボリュームなどの操作連動が可能になり、また、Zoom Rooms への音質チューニングを行うことで、より直感的な操作と高品質な音声によるビデオ会議体験を提供することになる。Zoom Rooms に対応する YVC-1000 ファームウェアは、ヤマハ音環境製品サイトか

ら 1 月 15 日より無料ダウンロードが可能になっている。

今回の認証にあたって「音において長年培ってきた経験と技術・ノウハウを持つヤマハの製品と組み合わせることで日本の顧客に最高品質の Web・ビデオ会議の開催や多様なワークスタイルを提供できると期待している。」とのコメントが ZVC Japan 株式会社 (Zoom Japan) (<https://zoom.us/>) より寄せられている。

ヤマハは、音と音楽で培った技術と感性をもとに、2006 年にグローバルの UC 市場へ参入し、企業をはじめとする顧客のニーズに応え、あらゆる遠隔コミュニケーションにおいて自然でクリアな会話体験を実現してきた。国内市場では、「話しやすい」「聞きやすい」豊かな会話・充実したサポート・品質などで高い評価を受け、シェア No.1 (株式会社富士キメラ総研「2019 年コミュニケーション関連マーケティング調査総覧」<マイクスピーカー、2018 年度、金額>) を確立している。

■Prantronics 社：日本における Poly の新経営体制を発表

(PRTimes:1月27日)

Prantronics 社 (<https://www.poly.com/jp/ja>) は、日本における Poly の新経営体制を発表し、日本法人担当として、アーウィン マッティー氏が代表執行役社長に就任したと発表。



Poly ロゴ (Prantronics 社)

マッティー氏は、日本法人において、音声・映像・コンテンツ/クラウドソリューションビジネスを統括し、日本のリーダーとして、市場開拓 (GTM) 戦略やチャネル戦略を遂行する役割を担う。

マッティー氏は、IT・ネットワーク業界において 20

年以上の実績がある。直近では、パロアルトネットワーク株式会社で日本市場の販売を牽引する立場だった。それ以前には、シスコシステムズ合同会社の法人セールスで複数の管理職を経験し、その間に UC&C への情熱を培ったという。

Prantronics 社は、昨年 3 月にポリコムと統合し、長年培った音声技術および高性能な映像技術および会議技術を組み合わせて、人々の有意義なつながりとコラボレーションを推進するグローバルコミュニケーションカンパニー「Poly」として再始動している。

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（2月）

「オフィスの「会議室足りない問題」に。スマートワークブース「テレキューブ」体験会」、「<スマートグラス体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援!」、
「いまさら聞けない Web 会議とテレビ会議の違い 選び方徹底解説セミナー」 など
会場：（東京・大阪・横浜）
詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Experience Avaya Tokyo

日時：2月20日（木）14:00～（受付：13:30）

会場：ザ スtringス表参道

主催：日本アバイア株式会社

詳細・申込：<https://news.avaya.com/jpn-experience-avaya-tokyo-index>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2020年1月31日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp